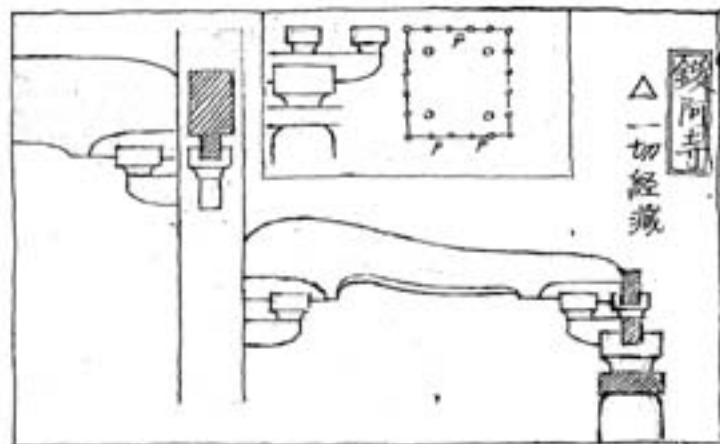


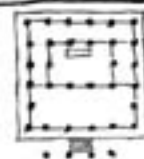
東京静岡栃木長野富山



欽安殿

天井内陣格天井
 廂化粧屋根裏
 斗拱 上層龍組三手元
 下層三平
 外陣内部手廻りハ例ノ不動院
 的意味ニ付極メテ粗末ナリ
 ナイル凡テ粗野

本堂



外陣手廻り化粧屋根半合ハ
 格天井

内陣凡テ格天井

本尊蓮慶作大日如來

日光修善寺

技師 星野
 主任 三五久保

八武傳 東照石工
 八田村 二荒拜殿
 一五河野 東照石工日
 一五廣田 設計製圖助士
 一五谷富 大献石工
 一三荒川 仕掛設計調査

事務員 石井 兼
 野村 常務
 落合 助子

●つら折る山路はつれて遠くあり、
近くありあり谷川の音。

●夏の内、葛屋の親父いそがしき。

●葛屋丈、山の上まで這ひこ。
夏を命の葛屋がふ。

●華嚴瀑布壁

見山勝概甲天下。華嚴瀑布冠名山。
倚我其亭造巖巖。更見大湖涵其間。
湖波一隅如大鼓。水勢奔奔大澤怒。
一落千丈又驚天。怒波撼地雷連聞。
是水臨水雪非雪。亂作珠玉散作煙。
山日倒射發風激。使人耳聾目眩心胆寒。
壯則如孟柯。連養之氣貫天。飽古今。
快則如項羽。鉅鹿之戰。殲人馬萬千。
不教盧岳。出天自勝。以爲宇宙真大觀。
嗚呼。滿仙遊去仙才絕。欲放題詩原野。
錢耳。自有諸宗。華嚴居士。乃以名。
澤非偶然。

華嚴瀑布。開于世矣。其地。若華嚴社。諸子謀立。
一碑。於其側。因書此。題焉。
明治十一年。陽曆七月。湖山山野長。啓。

田舎と女顔の中の両愛見

太郎は外へ逃げて居る

● 倉崎洲

古く人の名に高き

● 今も残る川水の音

● 馬返し

今もせは馬返しや馬に乗り

● 華蔵殿

二花の老のいふにわたり白砂

● 中宮洞其橋の眺望

仁と智の景色の中雨の音のふ

●

華あでるいよ不にわたり白砂は

● 実には二花の華をありける

●

二花や華のとき見る嵐の面に

● ありて其落る滝の白妙

●

幾千のち落るさきに見へる子や

● 見ゆる限りは滝の水あり

● 秋草の咲くはれにありあけあり

● 古くはありてありてあり

● かくくま馬はありてありてあり

● 早く登れる二花の山

歌戯(即處)

男体と女體中の兩愛見
太郎は外に遊んでぞ居る

●含湯淵

古への人のいさよの、名にさ同く、
人てさ替ける川水の立日

●馬返し

今の世が馬返しから馬に乗り、

●中安河某橋の眺む

仁と智の景色の中、のる者かを。

●草とあせりおちる白砂に、

●大に二葉の華にぞありける。

●二葉の華をぞ見え、嵐の面に

●かゝりては、滝の白妙。

●幾千のあせりつくさば、見へ手と、

●見る限りは、滝の水にて。

●秋草の咲き乱れてはおもえたる、

●昔しを思ふ、戦場が原。

●わとくるは、国はあれども、藤原も、

●早く改算ゆる、二葉の山

●▲戦場ヶ原

田はしよか、富にしめ、戦場ヶ原

いづそ戦場は、しだら、中カロー

●▲草と嵐流

●草と嵐流、ゴクと置く、惜しいもの、

●これさ本手は、一トモケせん

●湯湖秋

玉とく、二葉山の秋風は

湯のうみよりを立ち、そちけける

●男休め、あんどし、長し、華、嵐流

●文鏡山ゆきには、廣くし、戦場ヶ原

●まよふ等の、のれ、たらい、中、権寺

●方、寺と、若、殿と、屏風、立て、回し

●抱き、合、を、ちる、◇◇川

●日光は、信、清、華、宇、殿、中、神、寺

●戦場ヶ原、湯、を、た、て、り、湯

●秋風の立ち、あしより、裏見、瀬

●うら、淋しく、も、あり、に、け、る、哉



寧子山撰 頼賢碑

徳治丙午三月十五日

▲中尊寺の鐘
建武四年ノ銘アリ
但シ要作

星野男三郎方へ

六円五十三匁度す。

舟場町田寄方

村井



瑞嚴寺修繕ノ要領

●本堂

小屋一部取替、ハチ木等部ハ、斗拱、他
所々腐朽取替、後日改修、点検、瓦
全部葺直ス

●玄關

小屋全部取替、組物一部取替、佛木取替
その他、形替、瓦全部葺直ス

●御成門

小屋組取替、屋根葺替

●中門

小屋手ハ、屋根葺替

◎工費

本堂(監督) 三、四一〇、五〇
玄關(監督) 三、四一〇、五〇

御成門 五、四四、六八〇
中門 一、八五、三七四

◎諸工手間料

大工 六十支
寺僧 四十支
石工 七十支
葺師 六十支

◎諸材料

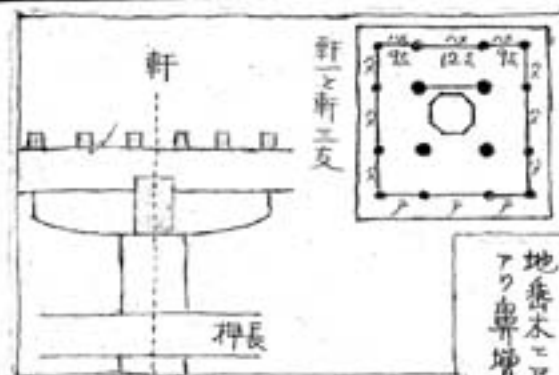
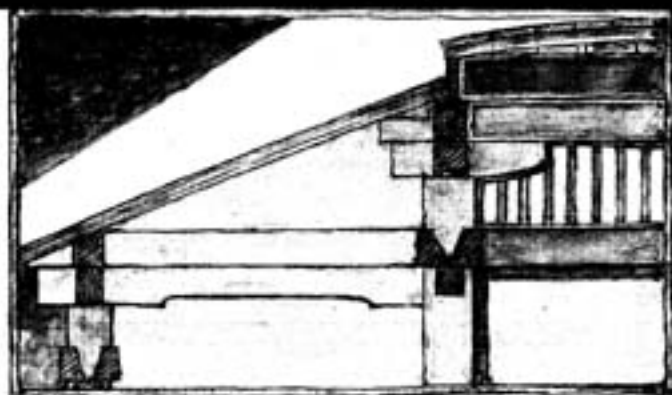
檜才(音志) 〇七五〇 但枕材
杉(音志) 〇四〇〇 六寸位
松(音志) 〇三二〇 枕材六寸以下
樺(音志) 一、〇〇〇 尺南丸、付
石(音志) 〇、〇〇〇 伊豆花崗石

フクシマケンギレ
ムライミラゾウ

アスアサ九ビツキスグ
ヨネサワヘユクチウタ

ヤマガタケン
ヨネサワザトウマチ
イトシユウジユン

アスフクシマ一バンニテ
ユウテウタ



伊具郡
西根村宇高合
高藏寺本堂上(アミダ堂)
三間四方形造り
丈六阿弥陀坐像

地垂木ニ居定
アウ鼻増シアリ

桝長

明治三十五年
八月四日
夏洋服



内村 十六百
宮島 十三百
小倉 十二百
伊東 十百
六百

天正三年の記アル懸佛アリ、
享保、修繕棟札アリ
儀軌アリ



京都川端元太町下松屋文店

廣瀬久吉

下谷若中三崎南町四十二番地
順承院内

小室信子

海上強	9978.056
善水	9924.770
三井物	6500.000
新選	4500.000
光浄院	6500.000
観音寺	5000.000
大野	4000.000

W

● 古社寺修繕

● 頂目流用ハ凡テ出願テ上裁可
 ● ヲ要ス
 ● 利子使用ハ用途ヲ具シ、出願の上
 ● 裁可ヲ要ス
 ● 事務所費ハ監督費以外に頂目設
 ● クル
 ● 仕様ニ影響目せざる限り、内訳を裏
 ● 更スルヲ得
 ● 形式変更ノ場合ニハ精密ナル圖
 ● 画ト解説トラ添ヘテ伺ヒ出スベシ

北京有官立學堂
 皇帝四子各立一學堂
 先有八旗官立學堂
 北京之兒童一定入學堂
 文明閣

新羅善神堂
光淨院

● 454 ●

大野神社樓門

橫川十堂

阿彌陀堂

常樂寺三重

川越本

安土三重塔

小生〇題詩堂

相輪標

●補助

三井寺橋門

新瓊香神堂

御書
上水

拾上

合計

114

T

177

● 兵庫

鶴林寺太

全宋文

金有盡
爭亦可

卷之五

全華同人

金剛守人

一乘寺三

LINEA

○ 171

施任山寺

上
醃
毒

全集

1

福井

明通寺

妙樂寺

卷之五

1

1

1

茨城縣
鹿嶋郡宮古宮

宮城縣
瑞巖寺五大堂

奈良縣
十輪院
極樂院

海竜王寺西金堂

彰葉師寺四脚門

全地藏堂

梁山寺八角堂

金峯山寺鏡玉堂

全連水神社本殿

法隆寺
全食堂
聖靈院

岐阜縣

愛知縣

廣島縣
淨土寺
多宝塔

海東郡甚目寺樓門

●現状

益々破壊に赴くと云ふ

●設計者及監督者

青木平兵衛が見込より由名寺を

●寺ノ負担額

充てゝ居りしと云ふ

式年御造營年代

一 天武天皇ノ時ヨリ定マル

一 聖武天皇ハ神武四年造營

一 聖武天皇ハ今六年

○臨時

一 聖武天皇ハ延暦ノ臨時遷宮ヨ

リ天知マテ四回

○中絶

一 聖武天皇ハ寛文出度ヲ限リ

一 聖武天皇ハ永享ヲ限リ

一 各百二三十年間中絶セリ

○柳儀ノ奉仕

一 度會荒木田ノ二氏ニテ雜姓ノ

モノヲ加ヘサリシナリ

●東福寺開山堂
形状悉へるものあり

●慶東寺
本堂一字

●靈光院
実測図必要

●織物・衣服

1. 狩衣・有欄

2. 狩衣・無欄

3. 顯紋紗

●紋

一 雲鶴

一 瓜にあらは

一 響唐草

一 立涌

一 藤の丸

一 小葵

一 輪菊

More ハ大サハ普通

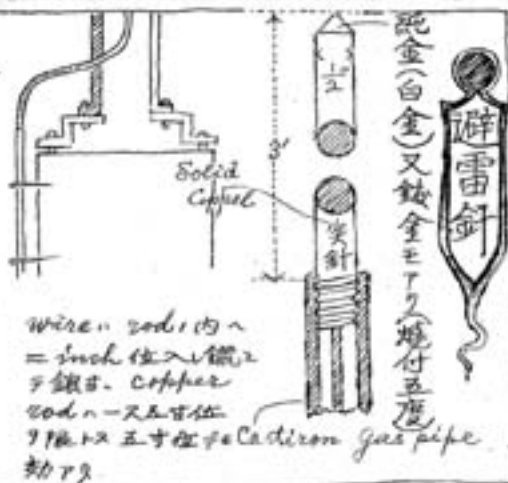
B. W. G. の十二 圓 線

ヲ十二 布 捻リ

止メ金 銅ハ 銀製

大尺 毎ハ 附メ

導突尖
銀針頭



既金(白金)又鍍金モ丁久焼付五度

避雷針



総尺× 74000. (式年内送管)

一尺× 0.1 変量 各尺× 7 得ル見込

α 造材× 22200. 尺× 7

本数 { 皇大神宮 (神道管ノ部丈) - 2838.
豊受宮 (ク) - 2767.
ク 北
+ ク 北

11247.

造替ノ部 (1)

修繕ナレバ造替×スル部 (2)

今度限り造替×スル部 (3)

修繕ノ部 (4)

以上四攝アリ。(2) (3)

ハ未定ナレバ 假ニ已定

トシテ内務ハ進達ス。

● 灵山寺三重塔

関野氏ノ説

内部柱、長押ヲ除外凡テ弘安

二重三重共ニ弘安ナルカ如シ

高欄モ然リ

御通代木所在地

- (1) 西筑摩郡駒ヶ根村大字小字灰澤にて二十本
 - (2) 上ヶ松駅ヨリ西南一里以内全築摩村字小梨子次にて一本
 - (3) 三留野ノ東方一里以内全全吾妻村字水上にて三本
- 妻籠ノ東方一里



●御説木見分日程

- 一 東多榮 中津川泊
- 二 中津川 奈上松泊
- 三 上松より 灰澤へ往復
- 四 上松登 三留野泊
- 五 三留野より 小淵寺沢見分 妻籠泊
- 六 妻籠より 水上見分 中津泊
- 七 中津川 奈多見分 古寺見分 古屋泊
- 八 古屋登 与奈見分

●四見寺舍利殿
形式ノ部

- 一 斗水くち脱瀝
- 一 頭貫卑 信標脱瀝
- 一 中貫卑 変形 終極柱撰
- 一 標浮ソ地 凡テ多少旧形ト異ナリ

手法ノ部

- 一 一般拙劣不潔切テリ
- 一 継手等ノ位置無勢
- 一 削り鈍かけ、極メテ粗
- 一 羽目板肘木等々減裂

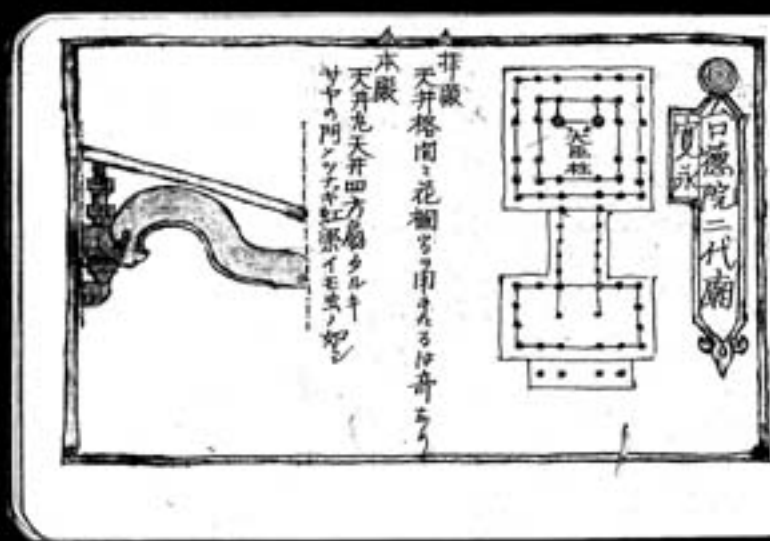
太涌谷より
芦湖及
富士山を
望む
真景

世界才名山
日本国富士山

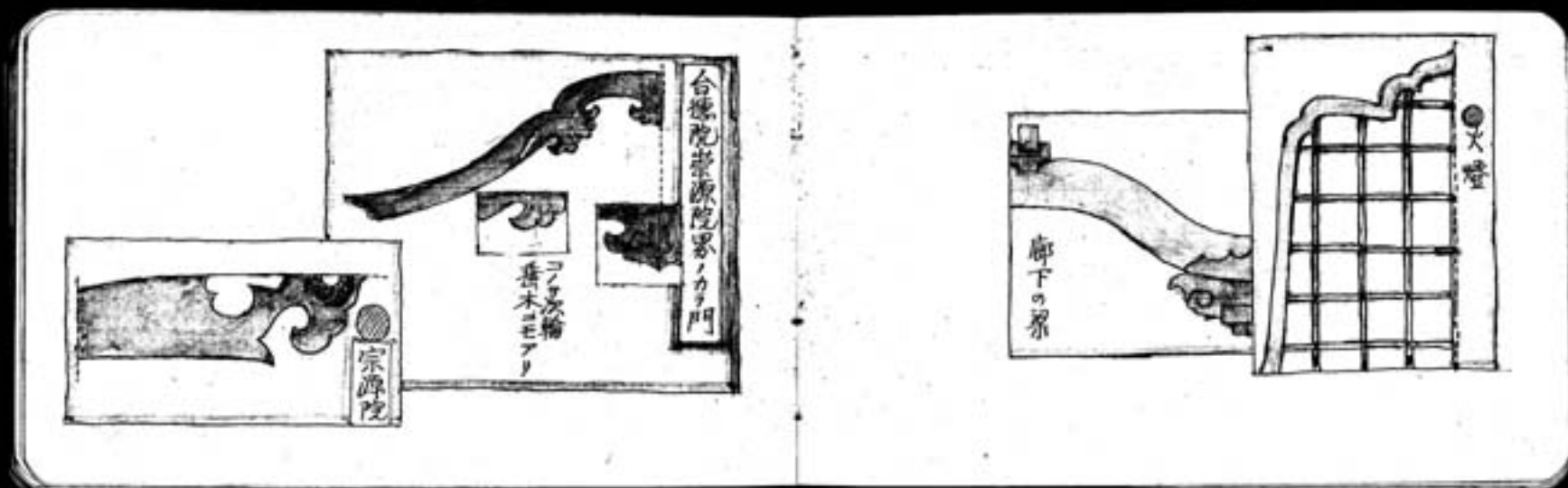


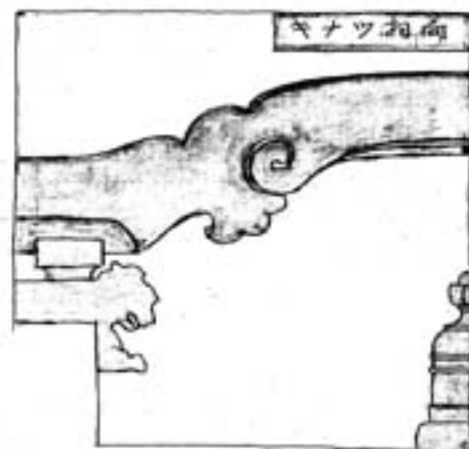


Topog - survey = topographical
tracter = excavator
linea = line
hydrog = water
suicide = self-harm

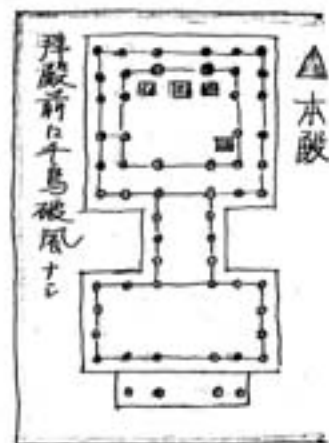


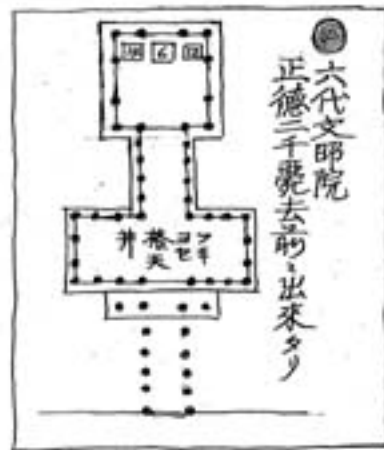
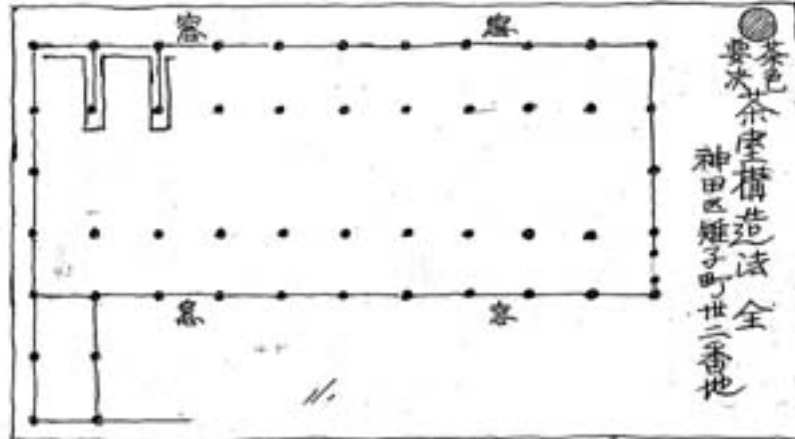
1. Bank of England
1. The Ruins & Excavations of ancient Rome
Lanciani newest edition.
 2. Italianische
Konversationen - Grammatik.
Oyola & Privatinschrift.
J. Cattaneo.
1891.
 3. Keller.
Glossario
Italiano & Tedesco
Dionisi & Italian



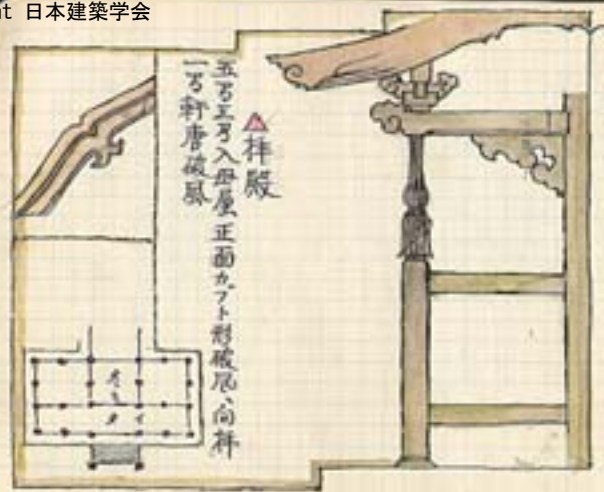


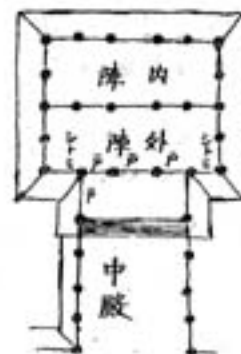
●黒本尊 本堂





●濱松町
五社神社(權現造) 寛永十二年
△不思議ナル四脚門





- 祭神
- 一 齊主命
 - 二 武甕槌命
 - 三 天照太玉命
 - 四 天照太玉命
 - 五 姫太神



佐見長神社

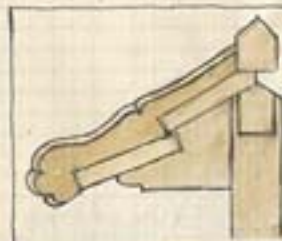
薄き過ぐ

ト裏甲雷接

平木の上の穴小ぶり

ヤオサカ舞位置
より過ぐ

門サレガシテ



三上神社ニ殿配置ニ件

東光寺伽藍ノ鎮守とある

傳に三上山とありしを引き下したる

最も圓位置とし距離不明門の両方あり朱の

三百年位の圓今の位置と異なれどもあり

進室の圓 百の十間百五十間の社地は、橋門は

外あり(兩手渡川内内あり)

本殿ありを拜殿とし、西向きなり、

天照頃の間ニ枚現状と異ならず

鏡村ニ王尊境内

應永廿八年八月八日の石燈籠



神の長(八間)長(半)に過ぐ

宝篋印塔



鏡神社

本殿大世原ト全ノ手法ナレバ

コレヨリ少し後レタルモノ
三百五十年位カ

猪神社(千僧供村)

四脚門(袖柱セツ面大カハカ多サ
鎌倉後ニシ)

拜殿 異様ナル絵様あり
サテイルカサリ

大藤原神社

本殿 應永廿一年丁の棟札
あり、但、くはこつと、殿の前の
ありん

竹のミシの中、久ルマタ、障子下
側面下長押下に於ける番サマ
千株ミサ子尉木等(モミヤウ
サルトミミ)足判中世り手法
あり

● 十輪院本堂

▲五間四面、前二万サヤの百

軒四方廻りて全一の手法あり、全
部建物の手法ナリ

▲外陣天井の絵の痕跡アリ

▲各部木割全クヨク一致ナリ、

▲外陣と内側柱にウメ木等の痕跡多ク
見ユ

▲内陣天井の變世大修理ノ際トカレモ
ノ指跡アリ

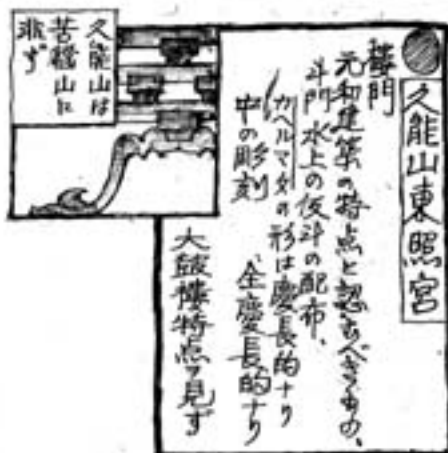
▲アロホーレヨン
極メデ低レ

▲木割
柱以下凡大面取

▲線
カレムス大畠等々

五色(青黄赤白黒)五窠紋
五色(白黒青緑黄)小窠紋

黄白
小葵紋
小車紋
屋形紋



大宮の富士



淺間神社

三代實錄貞觀七年十二月九日，詔書

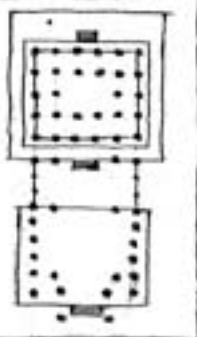
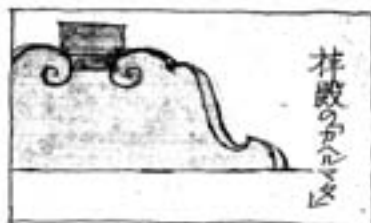
地藏菩薩記

地蔵菩薩記
駿河富士大宮云、橘園高ク冬ナリ
矢丹霞の色ニ交ヘ樓閣ノ影ヲ
疾木ノ影ノ全物雲ニ舞キ、頭密ノ
道場軒と鏡ノ百八十間、迴廊亦見
ハヘリ云々

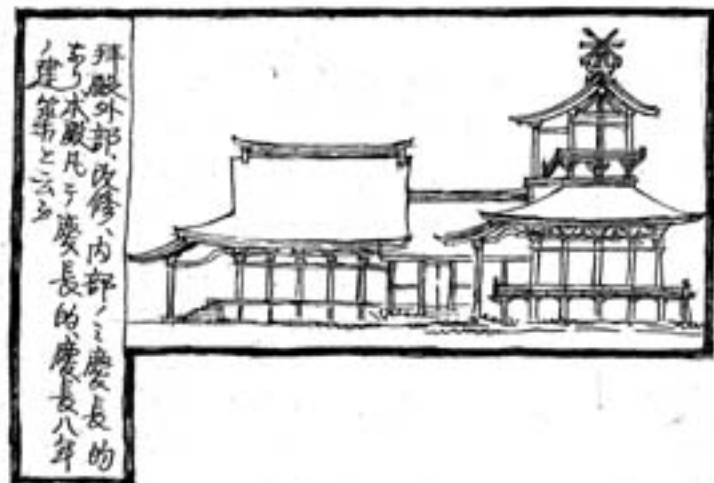
八咫と懸輿の關係



林殿のガレキ



上層 三三
向在、誠した
千本勝負本三在
腰組



富士山



国幣中社射水神社

元二上村ニアリ

古代ノ建築形式不詳

明治五年五月書上七尾縣へ届ケタル
文書

才二十二大區二小區二上村鎮座

一射水神社 式内

一本殿 二間四方

一拜殿 五間二四間

但本殿ヨリ拜殿迄廊下橋懸二門ニ

二門半、正橋八尺六尺

以下畧ス

トアリ、ナホ當時ノ図面ヲ見ルモ

第一、才ニ如キモノニテコレハ明治六

年閏七月ノ日附アリ

才ニハ正殿横ニ長キハ誤ナルヲ明ナリ、又

拜殿ハ才ニハ横ニ長ク才ニハ縦ニ長ク何

カ不明ナルモ、才ニハ尺度アリテ才ニハ尺

故、才ニハ才正レカレベキカ、然ルモ明治十二年

ニ上ノ社記事ノ中

拜殿 前四間 奥五間

トアリ若シハ分社ト本社ト全形トスハ才ニハ方

正レカレハ分社ヲ字檢セス故ニ影寫ヲ

下メニ能ハサルモ凡テ才ニハ才正レト見做レ

置ク、

ニ上ノ社殿ノ形式不詳

明治七年ノ間、放テ二上ヨリ今ノ地ニ移

建セリ、コノ片如何ナル都合ナルヲ拜殿ヲ

改築セリ、其國ハ才三ニ見ルカ如ク

本殿ハ昔ノマ、前四方ニテ横柱アリ、拜

殿ハ九間ニ七間ナリ、ソノ間ニ九尺ノ渡リ

有アリ、形式ハ神形還、テ才四ハ百ハ一

間ナリ

本殿ハ形式ヲ改メテト物ト現ハコトナシ、見

ルモ焼失前ノ余ノ記憶ニ由ルモ神明造ナ

リシナリ

又、後明治十四年ノ頃ト覺エ拜殿ノ名ハ

破潰ニ由テ改築ノ際當ニお殿ノミナラス、

中門、垣等を増築セリ、其プランハ才

五ノ如シ

コノ際、渡リ廊ヲ切テ本殿ノ前ノ一部を残シ

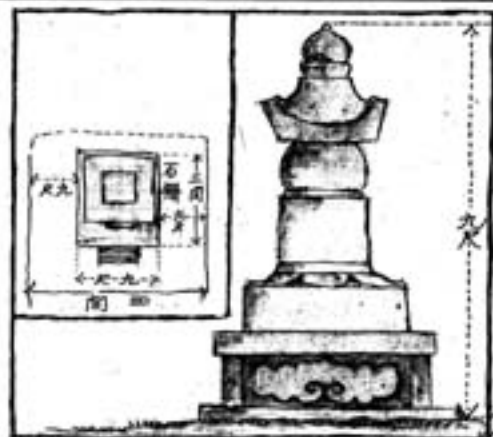
本殿ノ向隔ノ如クニ本殿ノ形式を改メテ

普通通ノ入母屋造トセリ

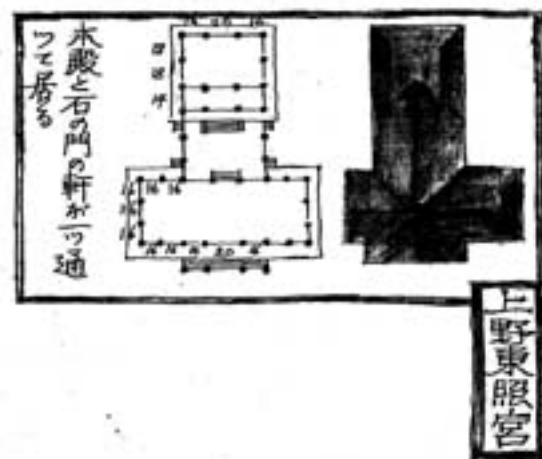
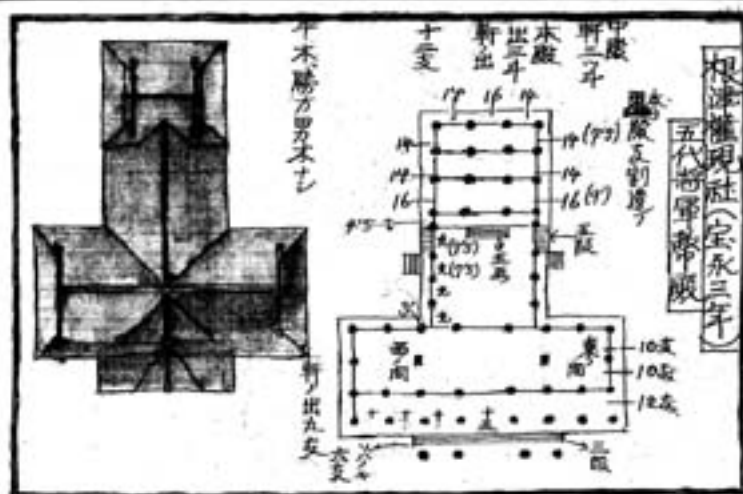
中門ハ

玉垣ハ

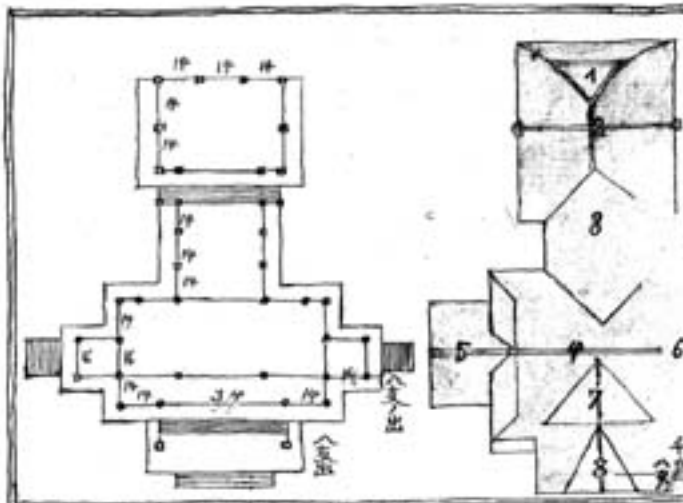
コレ焼失以前ノ形式ナリ



由て按スルニ本殿ハ二上山はあらし件より
 跡見マテ建佛として神明造ありし明
 り且ツヨリ神明造ハ山麓地方へ行ハル
 謂(余)山麓云云系統ニ属スルモノエテ頗る
 意味アルモノナリ謂フニ古代ヨリ建佛トシテ
 墳墓たるものありん。
 本殿ハ二上山のち其高岡に移サレタル所
 敬慕サタルモノ皆墳墓遷る象ナリナルナリ。



● 戸天満室



● 曾根氏い三菱會社の社長と共に來て
 十四日横濱出發既來へ渡航凡ソ
 六ヶ月間見込
 ● 内田四郎氏通信技師トナル
 ● 土屋君ハ北京へ行カル由
 ● 関野氏一昨
 ● 學生二人生徒
 ● 新入十人前後
 ● 學生修學旅行
 ● 造船造兵ハ教室ヲ今年ヨリ
 着手スル四月下設計中

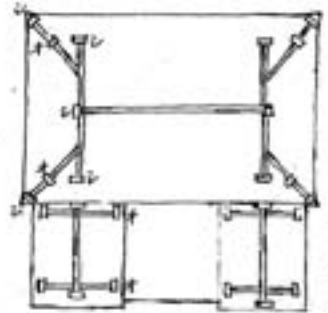
	中	下	地	丈	五重塔
1	12	10	6	7	5
2	11	9	6	7	5
3	10	8	6	7	5
4	9	7	6	7	5
5	8	6	5	6	4

茨城縣西茨城郡北那珂村大宮
 富谷小山寺
 三重塔

上野清丈堂

五間四入母屋

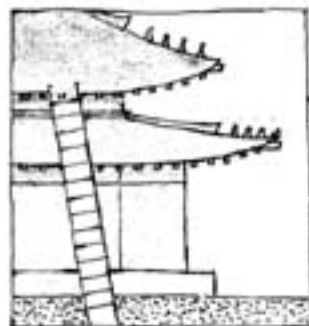
西廊一間に二間四入、今更堂、無異群青



下り接面と上り接面



棟の上と下り接面は、口よりと下り出し、棟の下は、順のしり、前と抱かぬ、(イ)ある、出を、下り出せる、が、如き、甚しき、滑、皆、あり



コンパス 一組
 會話書 二冊
 名字刺 一冊
 年表 一冊
 支那新地圖
 支那歴史



呼吸器
 コミヨケ眼鏡
 ツリガ子墨壺 二
 遠く方キ 二
 石膽香水 一
 手拭 一
 手巾 一
 小刀 一
 筆墨紙封筒 一
 磁石 一
 尺度 一
 手帳 一
 箱 一
 小定規 一
 薄美濃 若干
 画紙 若干
 扇 若干
 筆 若干
 眼鏡 一
 傘 一
 ビン 一
 宝丹 一
 酒石酸 一

フロッコート 二
 白チロアキ 二
 アルパカ上衣 二
 バボン 二
 ゴミヨケコート 二
 鳥打帽 一
 ハコ 一
 トーフ 一
 浴衣 一
 フラマ衣 一
 (その他) 一

白木綿
 上靴
 薄レヤクニ
 薄ズボ下 二
 下付キヤウ 二
 サル又 二
 靴下 二
 スホシリ 一
 飾木 一
 空衣 一

○日程

廿八日大塚、博物館、内務省、手印、

(内)廿九日 國會

(外)三十日 片山山下、パルマル、漢野、
(三)日靴出さ

(内)一日 國會、内務、建築学会

(外)二日 内務、送別會
(二)日金、金、金

(外)三日

(外)四日 午後十時出発

(外)五日 午後三時、京都、

(外)六日

天寧寺塔

彰義門を出て八角九層二十七丈と稱す
斗拱見れば二体隋代なり時修繕あり

塔宮建刹、河南街道、

塔佛寺、塔ハ五層ミレテ古シ(宋)

派州ニツノ手アリ

北ハ六層塔アリ

南ハ五層塔アリ(宋時代)

十三陵

昌平州

北京内

黃寺里寺にありラマ教ノ坊主ノ衣ノ
色ナリ

營造方式

六七冊 宋時代

春明夢餘錄 (清朝始メ)

宸垣識略

乾清門及乾清殿の清朝

如何に暑むとて、ハタカア、
草を枕に西瓜を食ふ、

チヤン化

チヤン化節

北京名物道の懸いて、

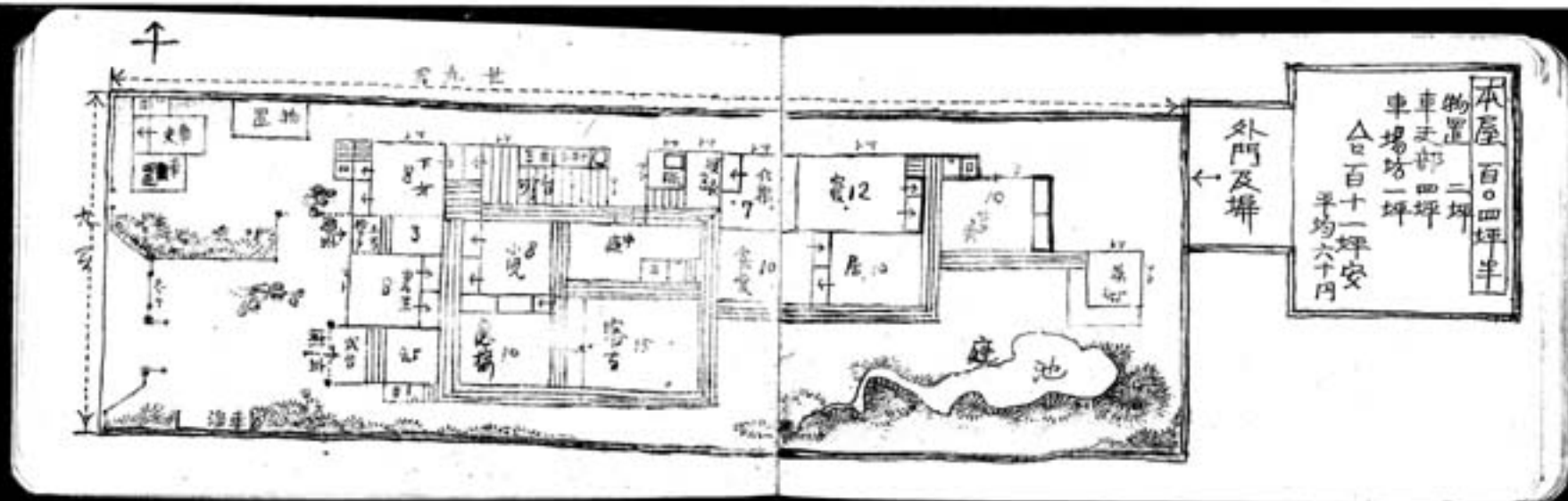
南京虫、

這個、明白ホコパンを

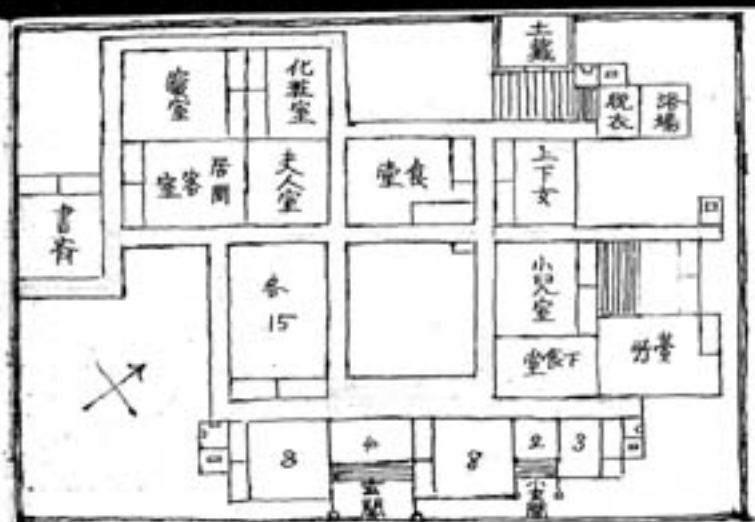
チヤン化

Tokio (東京)		Kioo (京都)		其他	
26. 市西總局	24. 河合 豊次	32. 内村大造			
27. 江原 鑄	26. 上田 守宗				
29. 〃	28. 木子 清敬				
29. 〃	28. 柳 龍文作				
30. 市西總局	29. 廣木 山下				
31. 内村 康見七	29. 内村 肉福				
33. 川村 利雄	28. 佐 味 伊 藤				
	29. 長野 家 幸				
	29. 三 橋 一 郎				

式年 總算表	
式年	總算表
1467467.650	



江戸屋敷
 底倉の湯
 日光の小屋
 大宮公園
 見晴し亭
 浅草公園
 京都新山極
 富士川の渡し舟
 大洗
 飯坂温泉
 江戸天神
 町ノ二階





東海道汽車

潮来の川舟
下加茂の湯

五十鈴川の雑奥トリ
全 水浴

全 草刈
大井町の家

高瀬川の洗濯
清水鉄舟寺内の茶檜り

興津海岸の豊登廻り
慶島の運搬

新臺ホテ
浅間温泉

底倉の湯
日光の小西屋

大宮公園
見晴し亭

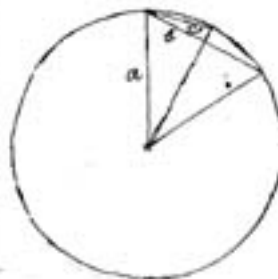
浅草公園
京群新茶館

富士川の渡し舟
大洗

飯坂温泉
電戸天神

電戸天神
町ノ二階

東石丸石デモヨシ、
 鳳窓ハ仕様通り変更、
 側柱は外部ツケ柱とする事
 戸上ハナマコ屋根トスル
 内窓紅壁、木村ペンキ
 外没塗、
 窓、妻中央及平半回摺マトその他
 はハメ殺シスル。



$$\begin{aligned}
 a^2 &= b^2 + (a-d)^2 \\
 a^2 &= b^2 + a^2 - 2ad + d^2 \\
 b^2 - 2ad + d^2 &= 0 \\
 -2ad &= -b^2 + d^2 \\
 2ad &= b^2 + d^2 \\
 a &= \frac{b^2 + d^2}{2d}
 \end{aligned}$$

新橋電	十二時三十分
鎌倉電	二時十五分
鎌倉電	大崎五十分
新橋電	八時十六分
鎌倉電	五十八
鎌倉電	五十七
鎌倉電	五十八
鎌倉電	一六三

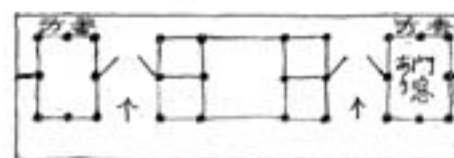
鎌倉長谷新宿八十一番地

村田方

斯波

明治三十四年夏季期 四十日旅行計画	(山田、藤田、廣島、岡山、兵庫、大阪、京都)
1 東京	22 兵庫
2 茨城	23 〃
3 群馬	24 岡山
4 長野	25 廣島
5 〃	26 山口
6 〃	27 〃
7 岐阜	28 〃
8 〃	29 〃
9 滋賀	30 福岡
10 〃	31 〃
11 京都	32 〃
12 〃	33 福岡—京都
13 〃	34 京都—愛知
14 〃	35 愛知
15 〃	36 〃
16 奈良	37 山梨
17 〃	38 〃
18 〃	39 山梨—
19 〃	40 東京
20 大阪	
21 〃	

奈良、滋賀、岐阜、愛知、山梨、長野、群馬、栃木、茨城



コノ門は徳川民の血族は
あらざれば作らざるを得ず
御主殿(資格の名)

●元大名山路陸軍司令部表門
松平田幡守 寛永木下利吉
地圖に誤りあり、國州は奥の大工あり

二線 Examples:



三線 Examples



Lines

I, Straight line

{ horizontal
 { vertical
 { diagonal

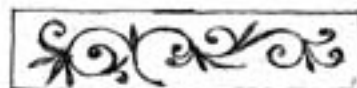
II. Curved line (Concave & Convex)

$\left\{ \begin{array}{l} \text{simple} \\ \text{complex} \end{array} \right.$

- I Order(circle)-----1
- II Order(El Nth p.m)---2
- III Order $\log_2 n$ (log. n)---3
- IV One inflexion-----4
- V Two or more inflexion 5



2		13000	
40		6500	
42		6500	168
		40	
		250	
		240	6 162 27
		100	12
		80	42
		20	



- I Arc. Convex Concave
1. Circular
2. Elliptic or Hyperbolic
3. Parabolic
4. Others
- Simplex 1. 3rd of first order
2. 3rd of Higher order
- Simplex 3. 25th Combined or Inflection

I =)

I =))

III =)

原 1 2 3

2nd

1 4 1

4 0 2

1 4 3

2 4 3

2 4 2

3 4 3



慈覺大師

入唐求法順礼行記

成尋

(東寺、四冊)

兼天台五臺山記

江戸城ハ

中井、甲良、鶴ガ作レリ、

而シテ諸堂社ハ

木原、鈴木、等ガ作レリ

江戸城は

中井。甲良。鶴が作レリ
而シテ諸堂社ハ

木原。鈴木等ヲ作レリ

●浅草伽藍全部ヲ造ル

木原全之允

鈴木飛騨。近江等アリ

俗ニ觀音堂流ト云フ

●麹町山王社

木原全之允

●王子權觀

木原全之允 合作

鈴木近江

徳川時代工匠系統

中村主水正 (大和出身ナルベシ)

木原全之允

甲良 備後 日光ヲ作ル
若狭 (江州甲良村ヨリ)
出タルモノナリ

平ノ内 大隅 芝ヲ作ル 嘉永ニ死
(今日日ノ續ケリ)

辻内近江 今日マテ續ケリ

石丸周防 天保以前頃大棟梁トナル

以上四人幕府ノ大棟梁ナリ

鶴小左工門 瑞巖寺ヲ造ル

左工門犬 (紀州出身ノ人ナリ)

甲良と共に鶴龜ト并稱セラル徳武
家トナレリ。

● 甚目寺問題

一 甚目寺の現況如何
二 修繕設計ハ誰人ノ
三 設計者ノ技能如何
四 工事監督者ヲ得ベキヤ
五 寺ノ負担額ハ若干



● 名古屋市

草刈義哉
小野瓢郎
長松好之輔
和達陽太郎
名井九次
山崎新太郎
大場茂馬

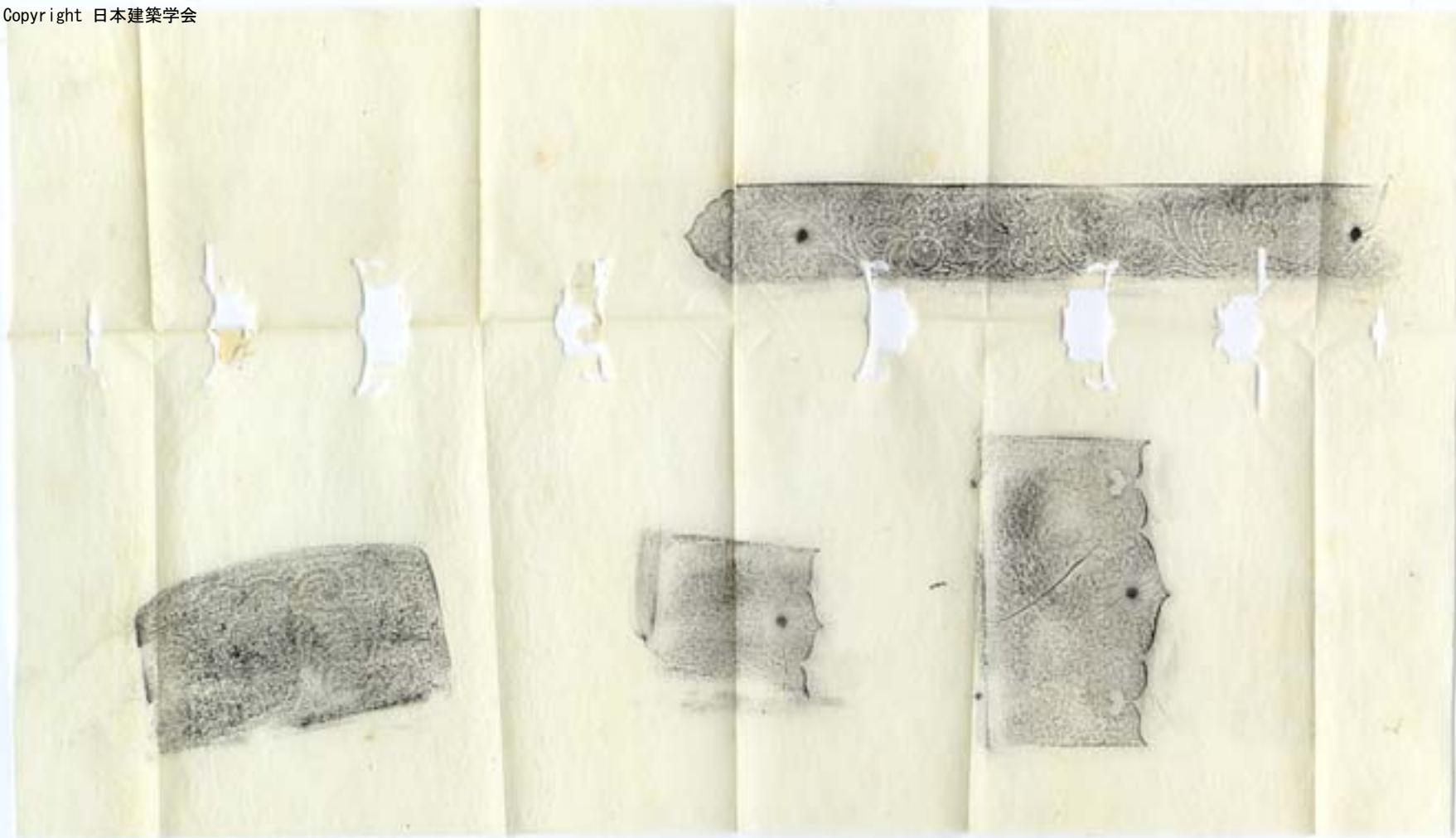
● 京都市

宮富韓之助
大瀧新之輔
川端九木町長屋書店廣瀬隆吉



35

東京、静岡、栃木、長野、富山、



Copyright 日本建築学会

※附

東

忠

太

建築雑誌

昭和

省人

Prof. Millon, English Legation.

大明一統志 寺冊

塔北冊

長江府國子監書院

長江府國子監書院

長江府國子監書院

長江府國子監書院

長江府國子監書院

長江府國子監書院

北京

永樂寺

大覺寺

大覺寺生香堂

大覺寺生香堂

大覺寺生香堂

大覺寺生香堂

大覺寺生香堂

大覺寺生香堂